

図書館とインターネット

現代中国学部 朴 美 耀



ある講義で先生から、中国古典書の一節を各自調べ、発表・提出するという課題が出されました。

何かを調べる時、どんな行動を取るか。私を含む多数の学生が、まずインターネットにアクセスをすると思います。実際私もその課題が出された後、家でパソコンの電源を入れました。インターネットは、クリックひとつですぐ、沢山の情報が表示されます。その発信源は日本だけに限らず、世界中です。そう考えれば、パソコンが世界に繋がっているという表現はとても納得出来ます。

それで、インターネットを利用した私が無事に課題を終了出来たか。結果は出来ませんでした。原因は複数あると思います。ただ、少しだけ得る事が出来た情報も、それが個人サイトから得た物だと考えると、信頼性が低い事は自覚出来ました。

そこで私は、ようやく図書館に足を運びました。その時の私は、図書館を上手く利用する自信がありませんでした。図書館にある無数の図書から、必要な情報を上手に取り出すという想像が出来なかったのです。使い慣れたインターネットを利用して得られなかった情報が、使い慣れない図書館で得られるとは考えられませんでした。ですが予想とは逆に、図書館を利用した私は問題なく課題を提出する事が出来ました。

図書検索では、馴染みのあるキーワード検索を使う事が出来ます。相談員の方も助言をくれます。そうすると、世界中の新旧知識を、良く研究された形で得られる事になります。どうしても最新情報を得たい時でも、メディアゾーンでパソコンを利用する事が可能です。その上、新聞・各種メディアも揃っています。その件を境に私の図書館利用の頻度は高くなり、今では暇さえあれば足を運

ぶようになりました。

パソコンが世界に繋がっているのは、間違いないと思います。だからこそ図書館は、もっと世界と繋がっているのでは、と感じます。

車道図書館を利用して(インタビュー)

法学部 2部 島田 英幸

Q: よく図書館を利用されていますが、どういった利用をされているのでしょうか。

A: ひとつは、公務員試験勉強のためです。『過去問500』、『新スーパー過去問ゼミ』の図書を利用しました。もうひとつは、授業の会計学、地方自治論のレポート作成のためです。雑誌「地方自治」、「都市問題研究」などをよく利用しました。趣味として「ニュートン」も閲覧しました。

Q: 車道図書館の良い点、悪い点を教えてください。

A: 車道図書館をよく利用する公務員受験仲間と励ましあって勉強ができたこと。自宅だといろんな誘惑に負けてしまうが、図書館だと勉強がはかどります。それに職員の親切で素早い対応がいいです。これはヨイショではありません。

悪い点とすれば、ゼミの図書館利用ガイドンスでうるさくなることもあることです。出入口の誤作動が多いこと。

Q: あなたにとって理想の図書館のイメージはどういうものなのでしょうか。

A: 飲食のできるスペースのある図書館。疲れたら休息できるスペースのある図書館。そういったところです。